

講演会の案内

「生命のしくみを解き明かせ ～液体界面で起こる特異な現象の観測～」

講師：矢野 陽子 准教授（近畿大学）

日時：令和3年6月30日（水）16時20分～

場所：N202 「物理化学特論B」の講義の一部として開催します。

内容：近年のシンクロトロン放射光を利用したX線反射率法は、ソフト界面膜の構造研究にとって非常に強力な実験手法の一つである。本手法を用いて、純粋な水の表面の凹凸はわずか0.3nm程度しかないことがわかった。本講演では、本手法を用いて明らかになった水表面で起こる興味深い現象として、タンパク質の界面変性現象や、表面張力の不均一によって起こるマランゴニ対流について紹介する。

担当：吉村(C311)